【るもい農業情報広場】　令和 4年 5月 1日　**R4－5月号**

今月の技術対策
（畜産編FAX情報）

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会
TEL：0164-62-1779　FAX：62-2474
E-mail:rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp

QRｺｰﾄﾞを読み取って
アクセス!!!
その他情報も
HPで公開中！

衛生的乳質改善 その①

～全道ランキングと乳質改善による効率的な経営～

(1) 全道乳質ランキング（合乳体細胞数）

留萌管内における衛生的乳質の状況は全道下位に位置しています。消費者が望む安心・安全な食品を提供するための取り組みが急がれています。

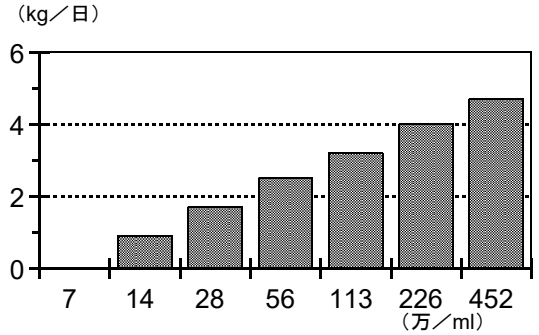
表１全道合乳体細胞数成績（年間累計）

ＪＡるもい各支所	順位			クリア率（30万以下）		
	2019年度	2020年度	2021年度	2019年度	2020年度	2021年度
天塩	99／100	95／101	98／98	82.8%	91.9%	89.3%
遠別	98／100	97／101	55／98	84.2%	91.4%	99.1%
羽幌初山別		86／101	75／98		96.6%	98.0%
苫前	83／100	21／101	67／98	96.2%	100.0%	98.5%
全道平均				98.4%	98.6%	98.6%

順位：全道生乳出荷農協中の順位

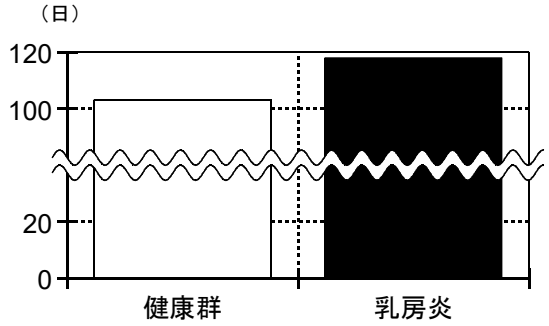
(2) 乳質改善による効率的な経営 ～ 損失乳量・繁殖成績 ～

乳房炎に罹ると乳房内が炎症し、乳腺組織が破壊され乳量の損失が大きくなります（図1）。
また、健康な乳牛は乳房炎の牛にくらべ、空胎日数が短縮する傾向にあります（図2）。



※十勝乳房炎協議会資料より引用（一部改変）

図１ 体細胞数と損失乳量



※(株)石井獣医サポートサービス資料より

図２ 乳房炎と空胎日数

この他、乳成分の向上、診療費や労働時間の減少など数え切れない利益を農場にもたらします。